

## 森林インストラクター資格取得支援講座

### 「林業（講義）」

2019年4月27日(土) 曇り 調布あくろす

森林インストラクター資格取得支援講座二日目「林業（講義）」を調布あくろすにて、関さんを講師に迎えて会員10名、スタッフ5名で実施しました。

講師の自己紹介では、年間の森林活動の日数や国内の森林施業地を訪ね歩いた経験に、受講者から驚きの声があがりました。初めに”今日は細かい内容を覚えなくても良い。林業の科目について全体のイメージを肌感覚で掴み、林業は面白いと感じてほしい。”のコメントがありました。また資格取得には、合格する強い思い、合格はゴールでなくスタート、受験勉強は楽しく効率的にやる、受験では時間配分が大事、との受講者にとって有用なアドバイスも頂きました。

講義の導入では「木と樹」「木と材」について、木への漢字〔昔機械は木で作った〕、「適地適木」等の林業用語について、法隆寺の宮大工の口伝に関わる話があり、木や樹木に対する関心が高まりました。「林業」の科目は、一つの筆筒で、六つの抽斗があり、その抽斗は仕切りがあり、各仕切りの中には玉〔キーワード〕を詰めた袋がいくつか入っている、と科目全体をイメージする説明がありました。

講義は「山村と農林業」から「特用林産物」までの6項目についてデータや写真を沢山使ったスライドを使用していました。6時間に亘る座学でしたが、スライドに時々コーヒーカップが出現し、そこでは山にあるスギ一本の値段、家一軒より高い磨き丸太の話、林業経営に関わる収支、屋久島の垂直分布の話、素材としての木の話など木や林業に関わる面白い話題が沢山出てきて、とても楽しい講義でした。

初めて受験する受講者も、過去受験した受講者も「林業」の用語は普段耳にする機会が少ない専門用語が多く、なじみにくい科目ですが、今回の講義で科目全体のイメージを掴み、林業は面白いと感じることが大事です。楽しみながら効率よく学習しましょう。

参加者：氏家さん、川口さん、久保さん、田代さん、富澤さん、中林さん、福山さん、古谷さん、星野さん、三井さん、

講師：関 美知夫さん

スタッフ：岡部俊生さん、小野梨香さん、芝原 久さん（写真）、横井行男さん

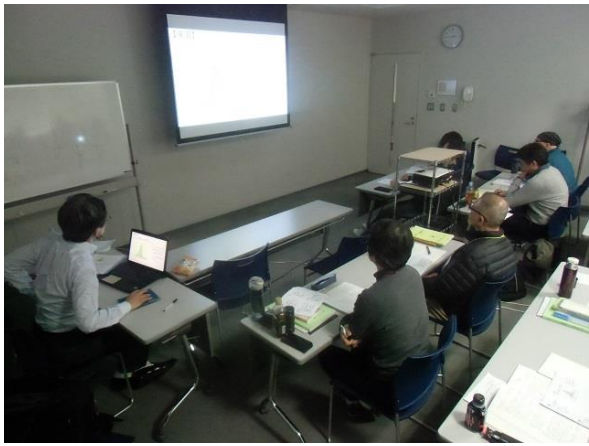


講師の自己紹介：受講者驚く



コーヒーカップ出現：家一軒より高い磨き丸太





講義：パソコンとスライドを使う



補足説明：ホワイトボードも使う



グラフで説明：木材生産のコスト内訳



質問に答える：木材の強度について



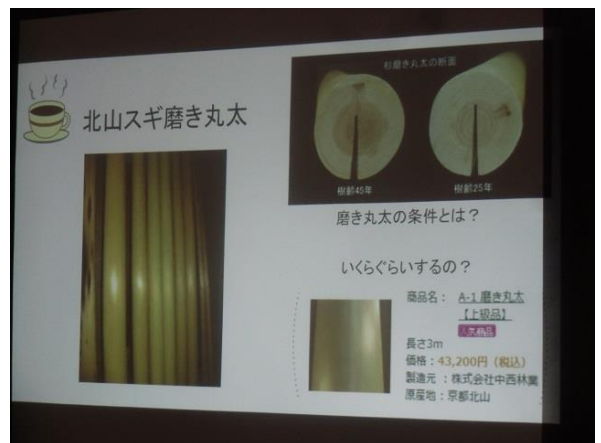
立ち上がったの解説：林業の国際比較



受講者とスタッフ：過去最多の15名が参加



コーヒータイム：磨き丸太のお話



コーヒーカップ付きスライド：磨き丸太の値段は？